

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論 I (呼吸器・循環器系) 1 単位 30 時間		
開講時期	1 年次 後期		
担当教員	池田政輝・大山吉幸・明石拓郎 中村肇・黒田祐介	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt; 解剖生理で学んだ呼吸・循環器系の知識を臨床実践に結び付け統合し、特有の疾患を理解する。呼吸・循環器系の器官が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起する。その後、その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか学び、損なわれた機能の回復や失われた機能を補てんするにはどうすればよいか、治療や援助につなげる根拠を知る。</p> <p>&lt;到達目標&gt; ・呼吸・循環器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	1. 呼吸器系の疾患とその治療 1) 感染症	講義 (池田)	
2 回目	2) 間質性肺炎	講義 (池田)	
3 回目	3) 気道疾患 ①気管支喘息 ②慢性閉塞性肺疾患	講義 (大山)	
4 回目	4) 肺血栓塞栓症	講義 (大山)	
5 回目	5) 呼吸不全	講義 (大山)	
6 回目	6) 呼吸調節に関する疾患	講義 (明石)	
7 回目	7) 肺腫瘍 8) 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患	講義 (明石)	
8 回目	2. 循環器系の疾患とその治療 1) 虚血性心疾患	講義 (黒田)	
9 回目	2) 心不全	講義 (黒田)	
10 回目	3) 血圧異常	講義 (黒田)	
11 回目	4) 不整脈	講義 (黒田)	
12 回目	5) 弁膜症	講義 (中村)	
13 回目	6) 心筋疾患	講義 (中村)	
14 回目	7) 先天性心疾患	講義 (中村)	
15 回目	8) 動脈系疾患 9) 静脈系疾患	講義 (中村)	
評価方法	終了試験 筆記 100% : 池田 (45%) 黒田・中村 (55%)		
受講生に対するメッセージ	2 領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 医学書院 病気がみえる 呼吸器 循環器 メディクメディア		
参考書			